

▶19日 火曜

申命記

20:10 町を攻略しようと、あなたがその町に近づいたときには、まず降伏を勧めなさい。
20:11 降伏に同意して門を開くなら、その中にいる民は、みな、あなたのために、苦役に服して働くなければならない。

20:12 もし、あなたに降伏せず、戦おうとするなら、これを包囲しなさい。

20:13 あなたの神、主が、それをあなたの手に渡されたなら、その町の男をみな、剣の刃で打ちなさい。

20:14 しかし女、子ども、家畜、また町の中にあるすべてのもの、そのすべての略奪物を、戦利品として取ってよい。あなたの神、主があなたに与えられた敵からの略奪物を、あなたは利用することができる。

20:15 非常に遠く離れていて、次に示す国々の町でない町々に対しては、すべてこのようにしなければならない。

20:16 しかし、あなたの神、主が相続地として与えようとしておられる次の国々の民の町では、息のある者をひとりも生かしておいてはならない。

20:17 すなわち、ヘテ人、エモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人は、あなたの神、主が命じられたとおり、必ず聖絶しなければならない。

20:18 それは、彼らが、その神々に行なっていたすべての忌みきらるべきことをするようになながたに教え、なながたが、なながたの神、主に対して罪を犯すことのないためである。

20:19 長い間、町を包囲して、これを攻め取ろうとするとき、斧をふるって、そこの木



Bible Reference
聖書の記述

を切り倒してはならない。その木から取つて吃るのはよいが、切り倒してはならない。まさか野の木が包囲から逃げ出す人間でもあるまい。

20:20 ただ、実を結ばないとわかっている木だけは、切り倒してもよい。それを切り倒して、あなたと戦っている町が陥落するまでその町に対して、それでとりでを築いてもよい。

戦いをするときに、「まず降伏を勧めなさい。」とあります。極力平和裏にことを進めるのが神様の道です。しかし、戦いを挑んでくるなら、主は勇敢に戦うことを命じておられます。主のための戦いは徹底的な勝利が求められます。また敵との戦いになって、次に敗れることがないためです。

なぜ「生かしておいてはならない。」のかといふと、それは彼らが、子供を火に焼くなどい「忌みきらるべきことをする」からです。しかもそれをイスラエルがまねる可能性があるからです。

神の栄光と正しい信仰のためであるなら、徹底的に勝利を求めましょう。もちろん私たちにとっては、血肉の戦いではありません。人を苦しめるための勝利ではなく、サタンに対する靈的な戦いであり、愛が実現する勝利です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

